

	北海道大学 保健系分野 (薬学)
学部・研究科名	薬学部 (薬科学科 (4年制) : 50名、薬学科 (6年制) : 30名) 大学院生命科学院生命科学専攻 (M : 132名、D3 : 46名) 臨床薬学専攻 (D4 : 4名)
沿革・設置目的	<p>当時の社会情勢における薬学研究者及び技術者不足を背景に、薬学に関する教育・研究を行うことを目的とし、北海道大学医学部薬学科を経て、昭和40年、北海道大学薬学部が設置された。</p> <p>昭和22年 (1947年) 新制北海道大学設置 昭和29年 (1954年) 北海道大学医学部薬学科設置 昭和33年 (1958年) 大学院薬学研究科設置 (平成18年に研究上の目的として大学院薬学研究院及び教育上の目的として大学院生命科学院に改組) 昭和40年 (1965年) 北海道大学薬学部設置 平成16年 (2004年) 国立大学法人に移行 平成18年 (2006年) 薬学科 (6年制)、薬科学科 (4年制) を設置 平成24年 (2012年) 大学院生命科学院臨床薬学専攻 (D4) を設置</p>
強みや特色などの役割	<p>○ 北海道大学の理念等に基づき、全人的教育を基盤とし、専門的知識の習得と研究力・国際性の涵養により、アカデミアや製薬関連企業において新しい知の創造と新薬の創製に貢献できる創薬研究者・生命科学研究者を養成するとともに、地域の中核的な医療施設や大学等のアカデミアにおいて先導的な立場で活躍できる薬剤師・医療薬学研究者を養成する。</p> <p>○ 大学病院及び道内関係団体と連携した卒前・卒後教育や、臨床薬学の各領域における特色のある教育・研究の推進と研究重視のカリキュラムにより、専門薬剤師を含めた次代を担う薬学系人材を養成する。</p> <p>○ 核酸・抗体医薬の実用化に向けた研究、神経変性疾患や精神疾患研究、ナノバイオ技術による薬物送達研究を始めとする創薬・生命科学の各領域における研究実績を活かし、先端的かつ独創的な研究の推進により、新たな創薬標的や創薬シーズを見出すことを目指すとともに、次代を担う人材を養成する。</p>